

令和3年度第1回魚津市スポーツ推進審議会 会議録

開催日：令和3年9月28日（火）

時間：18時30分～20時00分

出席者 委員 石川、河崎、木下、宮川、宮口、谷山、上田、川西
事務局 山瀬教育長、山本課長、高森係長、岡本、石坂

欠席 委員 小笠原、荒川

○役員選出

会議の互選により、会長に石川道範氏、副会長に河崎忠行氏を選任。

○協議事項

1. スポーツ施策等に対する意見について（高森説明）
2. （仮称）うおづスポーツコミッション事業について（高森説明）
3. 室内温水プールの整備について（高森説明）

○その他

- ・次回の開催について

質疑応答

●スポーツ施策等に対する意見について

委員：コロナの影響で思うような活動が出来ていない。特にスポ少の加入率の減少をみると、スポ少加入体験会等ができなかった影響もあろうかと思っている。

コロナの影響から外出は避けていると思うが、子供たちは学校が終わった後等、何をしているのかと思ってしまう。ゲーム等をやっていると思うと心配になる。

スポーツ競技の継続性を考ええると、小学校のスポ少経験者が中学校に進学し、同じ競技を継続しているか疑問に思っている。中学校の部活動加入率は、スポ少としたら興味がある。現状はどうか？

委員：中学校の部活は生徒全員、1部活加入ではない。昨今はクラブチームに所属している生徒もいるし、部活とは別の団体に所属するなど、掛け持ちしている生徒もいる。

様々な形態でスポーツに関わっている。

小学校時に行っていたスポーツ種目を中学校で同様に行っているかは不明であるが、陸上は小学生から引き続き部活動で実施している割合が多いような気がする。

会長：同感である。陸上部の活動を見学すると、小学生から引き続き行っている生徒が多く、よく声をかけている。

委員：部活動には、テニスのようにスポ少にない種目もある。最近では、ラケット競技に人気があると聞いている。体を動かすことが大事で、多くの子供がスポーツに関わって欲しい。

委員：部活をすることに魅力を感じている生徒が多い。しかし、生徒数の減少しているため、チームが成り立たない種目もあり、東西中学校で合同チームを結成している。

●（仮称）うおづスポーツコミッション事業について

会長：事業説明や調整等の結果、参加団体等には内諾を得ているのか？

事務局：スケジュールのとおり事前説明を行い、記載してある団体から内諾を得ている。

●室内温水プールの整備について

会長：プールの深さについて。

様々な人の利用を見込んでいると思うので、様々なニーズに対応できるよう配慮することが必要である。

事務局：そのとおり。予算があれば床面を電動で調整する設備整備も可能となるが、今回の新たなプールでは、プール床に台を設置するなどで高さを調整する対応を考えている。

事務局：費用対効果、ユニバーサルデザインの考え方等を考慮して検討していく。

会長：駐車場を整備地として活用すると、大型イベント時の際の駐車場の確保に問題が生じることが想定される。

事務局：駐車場の拡張は厳しい。自動車の駐車の稼働率を上げるなど、より効果的な運用が求められると思う。

委員：協議資料4に「設置場所を確定しない。」と記載してあるが、ありそドームに決まっていないのか？

事務局：今回の基本計画では、設置場所の確定は行わない予定でいる。候補地としてありそドーム周辺や浄化センター敷地等を記載する方向で検討している。

会長：整備時期は了承されているか？

事務局：整備スケジュールは説明済みで、了承を受けている。

委員：プール整備基本計画についてパブリックコメントを実施する予定はあるのか？

事務局：想定はしていない。ワークショップでの意見交換や利用者アンケートで意見を集め、計画に反映することとしている。

(閉 会)